



新年のご挨拶

みずのえとら

「壬寅／コロナ禍を克服して明るく躍動感溢れる年に」



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を、ご家族お揃いで、健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃から町政に対して温かいご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年の干支は「壬寅（みずのえとら）」、十二支は「寅（とら）」となります。厳しい冬を越えて春の草木が芽吹き始め、新しい成長の礎になる年と言われています。60年前（昭和37年）は高度経済成長により日本経済が飛躍的に発展した時期にあたりますが、本年がコロナ禍を克服して日本全体が明るく躍動感溢れる年になりますことを心より祈念致します。

令和2年に実施した国勢調査の確定値が昨年末に発表されました。平成20年前後にピークを迎えた日本の人口は減少局面に転じ地方の人口減に歯止めがかけられない現実が鮮明になって

きました。岐阜県下の市町村の状況をみますと10年前の調査結果と比較して15から25%までぐらいいく人口が減少している市町村もあり深刻な状況となっています。

7年前に、国は人口減少を克服して活力ある地域社会を目指し「地方創生」に着手しました。具体的な数値目標を掲げ、それに伴い全国の自治体は同じように数値目標を盛り込んだ地方版総合戦略を策定、国は自由度の高い交付金で自治体を財政支援しましたが、人口減少に歯止めはかけられない結果となりました。

安八町では死亡数が出生数を上回る自然減を、転入者数が転出者数を上回る社会増が補う形で人口はほぼ横ばいで推移してきました。しかし、2年ほど前より自然減が増え、社会減が顕在化してきました。それに伴い、人口の微減傾向が顕著となってきました。要因としては大手企業の撤退などが影響していると推測しています。

安八町では第五次総合計画の下でまちづくりを進めています。令和4年度が計画最終年度となります。若者や子どもたちをやさしく包摂するまちづくりを基本理念に掲げ、子育て支援、子育て・教育環境の整備、雇用の場の確保などに力を注いできました。今後、人口減少社会がさらに進展していくのは間違いなく、さらに少子化、高齢化、単独世帯の増加など地域を取り巻く環境はたいへん厳しい状況にあります。今後これらの課題に真摯に取り組み、将来を支える若者や子どもたちに豊かなまちを繋げていきたいと考えています。

本年も皆さまからのより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

安八町長 堀正

